

森づくり最前線

天竜森林管理署

首席森林官（京丸・熊切担当区） 半場 修

私が勤務する京丸森林事務所は浜松市天竜区春野町気田にあり、町の92%が森林に覆われています。管内の国有林は約5千800㍍で、天竜川の支流である気田川の源流部に位置し、そのほとんどは水源涵養保安林に指定されています。

この地域は明治時代に金原明善が、天竜川の水害を防止するため、「河ヲ治ムルハ、山ヲ治ムルニアリ」と植林の大切さを説き、現在の瀬尻国有林に植林したことに端を発し、以来、大規模な植林が行われ、古くから国内有数の林業地として栄え「天竜美林」として日本三大人工美林のひとつに数えられ、その美しさとともに良質な木材の産地となっています。

浜松市では、地域の価値ある森林資源を持続可能な森林経営・管理を通じて循環利用していくために、国際的な森林認証であるFSC認証を取得し、天竜材のブランド化により他地域との差別化を図るとともに、認証材の流通促進を核とした天竜材の需要拡大に取り組んでいます。天竜森林管理署では、地域の一員として天竜美林の多面的機能の維持拡大と浜松市の林業成長産業化を支援するため、昨年、春野町内の国有林約3,000㍍を追加認証し、課題となっていた認証材の安定供給体制の整備を進め、これまで以上に地域に貢献していくこととしています。



木の日記念市に出品したスギFSC材
(静岡県森連天竜事業所)



帝室林野局名古屋支局気田出張所
庁舎落成記念写真（御料林大観より）

当地域は、歴史も古く林政統一までは御料林として帝室林野局気田出張所が管理し、かつては流送や森林鉄道が隆盛を極め、特に気田森林鉄道は全長33㍍と局内では最長を誇り、現在でも廃墟マニア・林鉄ファンが訪れます。筏問屋を営んでいた旧家も国の登録有形文化財として往時を偲ばせています。

また、森林事務所に隣接して、「木材パルプ発祥之地」の石碑とともに、明治22年旧王子製紙株式会社気田分社当時の赤煉瓦倉庫や碎木砥石（グラインダー・ストーン）が展示されており、森林・林業を語るうえで歴史的にも貴重な地域です。



仙郷橋で撮影された気田森林鉄道
1952年4月



現在の仙郷橋



旧大王製紙製品倉庫と
木材パルプ発祥之地記念碑



木材の破碎に使用していた
碎木砥石（グラインダー・ストーン）

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL (027)210-1158
FAX (027)230-1393